令和元年度琴浦町国民健康保険運営協議会（第２回）議事録【要約】

１．日時　　令和２年２月６日（木）14:00～15:30
２．場所　　琴浦町役場　本庁舎　第１会議室
３．出席者　　被保険者代表　安谷 委員、入江 委員、前田 委員
　　公 益 代 表　三浦 会長、田中 委員、藤本 委員
　　医療機関代表　青木 委員、松本 委員
　　事務局　山口副町長
　　藤原すこやか健康課長、難波課長補佐、高多保険係長、永代主事
　　大田税務課長

【議事】

（1）　会議録署名委員

入江 委員　　松本 委員

（2）　令和元年度国民健康保険特別会計の現状について

・人口減少とともに被保険者の減少も進んでいる。特に 60～64 歳の国保加入率の減少が顕著で、働き続ける人が増え、国保へ加入する年齢が引き上げられていることが予想される。
・特定健診の受診率は前年度と比較してやや減少している。
・ジェネリック医薬品の普及率（数量ベース）は 80%を越える月が徐々に現れている。

（3）　令和２年度国民健康保険税率（案）について

・令和２年度は納付金の増加と保険税収入の減少等により、現行税率では歳入不足となる見込み。
・保険税収入の不足分を基金で賄うことも可能だが、令和 6 年度の激変緩和措置の廃止による大幅な保険税負担の増加に備え、段階的な保険税率の引き上げを検討したい。
・一般会計からの赤字繰入は行わない。
・激変緩和措置の廃止に向けて、各年度の保険税必要額を設定し、必要最低限の保険税の負担増となるように税率改定案を作成。
・資産割は税率改定を機に廃止し、応能応益割合の変更は次回以降の税率改定で検討したい。
・令和２年度に税率改定するパターン１と令和２年度は税率を据え置き令和３年度に改定するパターン２の２案を作成した。

【委員意見】パターン１とパターン２について委員へ意見を伺ったところ、全員一致でパターン１が良いという結論になった。

その他（各委員からの意見等）

・パターン２は令和３年度の税率引き上げ幅（20%）が大き過ぎる（パターン１は 12%）。
・医療費の増加や高齢化等の影響で今後 1 人当たり保険税負担は間違いなく伸びていくため、早めに段階的に引き上げたほうが良い。
・医療費増加を抑えるためにも保健事業に力を入れてほしい。

会議録署名委員

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿